

令和7年5月26日

都道府県協会代表者 様

特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会
代表理事 富岡 貴生

協働型（一体的運営）の実践紹介に関する事例提供のお願い

平素より、当会の活動および相談支援事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび本協会では、複数の相談支援事業所による一体的な運営（協働型）の取組について、全国の実践事例を広く紹介・共有し、地域間での学びや協働型の普及促進を目的に、当協会ホームページで紹介してまいります。

つきましては、地域で行われている協働型の実践について、下記の要領にて事例をご提供いただきたくお願い申し上げます。

ご多忙の中とは存じますが、趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

提出内容 | 複数事業所の協働による一体的運営の実践紹介スライド（6枚構成）

提出形式 | PowerPoint（可能であればPDFも併せて）

提出先 | 特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会

※スライド構成例（6枚構成）および作成ガイドは別添の資料をご参照ください。

※スライドの作成については、基本的には実践地域の方を想定しておりますが、必要に応じて都道府県協会のご担当者がとりまとめて作成していただいても構いません。

※ご不明な点がございましたら、担当までご遠慮なくお問い合わせください。

－お問い合わせ先－

日本相談支援専門員協会 政策委員会

担当：鈴木雅史

アドレス：m-suzuki@umail.plala.or.jp

「複数の事業所による一体的管理運営（協働型）の実践紹介」作成ガイド

日本相談支援専門員協会では、全国における協働型（一体的運営）の取り組みを広く共有し、地域間での学び合いや実践の普及を目的として、当協会ホームページにて実践紹介を掲載してまいります。

つきましては、以下のガイドを参考にいただき、貴地域における協働型の取り組みについてスライド資料をご作成のうえ、ご提供いただけますようお願い申し上げます。

スライド構成（全6枚）

① 表紙

- ・タイトル、副題（都道府県・地域・市町村名）を記載
- ・基本情報（人口規模、基幹相談支援センター・地域生活支援拠点等の設置状況等）

② 協働体制の経緯と構築までのプロセス

例）・地域課題や人材不足などの背景 ・協働体制構築までのステップ など

③ 現在の協働体制のしくみ

例）・体制図 ・定例会議、ケース共有、事業所間の連携 など

④ 協働がうまくいった理由・継続の工夫

例）・定例ミーティングの継続とルール化 ・事例検討や学びの場の設定
・役割分担・得意分野の尊重 ・収支や心理的安定の確保 など

⑤ 効果・成果・課題

例）・相談支援専門員、事業所、自治体等の声 など

⑥ 地域へのメッセージ・今後の展望

例）・他地域への呼びかけ
・導入の第一歩となる提案
・今後の展望や思い など

提出形式・方法

提出形式 | PowerPoint データ

提出先 | 日本相談支援専門員協会 政策委員会

担当：鈴木雅史

アドレス：m-suzuki@umail.plala.or.jp